



水と人が奏でるハーモニーのまち

# 宝達志水町

# 議会だより

平成22年2月22日発行

■発行

石川県宝達志水町議会  
〒929-1492

石川県羽咋郡宝達志水町子浦〒18-1  
TEL (0767) 29-8310 (直通)  
FAX (0767) 29-4623

■編集

宝達志水町議会  
広報編集特別委員会

## 第19号



町立中央保育所の節分行事



■21年第4回定例会 ..... 2

■一般質問 (5名) ..... 4

■常任委員会ノート ..... 7

■町議会日誌 ..... 10

# 平成21年 第4回

# 定例会

## 12月11日～22日

### ◎補正予算

#### ○一般会計

歳入歳出それぞれに五千六百八十四万三千円を増額するもの。

#### 主な歳入

・町税

千五百万円

(法人町民税)

・分担金および負担金

百五十四万六千円

(県営ほ場整備事業負担金など)

・国庫支出金

九百六十一万四千円

(地域介護・福祉空間整備交付金など)

・県支出金

千二百四万二千円

(基準超過費用額共同負担金など)

・繰越金  
千六百七十三万千円  
(前年度繰越金)

副議長に  
岡野 茂氏



12月22日の定例会で、副議長の辞職に伴う選挙が行われ、岡野氏が当選しました。

#### 略歴

総務常任委員長  
決算特別委員長  
2期 61歳

また、委員会の構成が、次のとおり決まりました。

産業建設常任委員会  
委員長 柴田 捷  
副委員長 中谷浩之  
委員 北 信幸

広報編集特別委員会  
委員長 中谷浩之  
副委員長 岡野 茂  
委員 金田之治  
林 一郎  
柴田 捷

#### 主な歳出

・議会費

△百五万円

(議員報酬など)

・総務費

千九十一万八千円

(納税組合報償費など)

・民生費

九百四十一万七千円

(子育て応援特別手当給付事業の減、小規模福祉施設スプリンクラー設備整備事

業補助金の増など)

・衛生費  
二千七百八十三万八千円

(志雄病院事業会計繰出金など)

・労働費  
七十六万四千円

(緊急雇用創出特別事業空き家等調査事業費など)

・農林水産業費  
千六百二十二千円

(職員人件費など)

・商工費  
△二百三十万円

(職員人件費)

・土木費  
△二百九十六万七千円

(職員人件費の減、道路維持管理事業費の増など)

・消防費  
二百七十万円

(災害対策事務費)

#### ○国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれに千二百六十九万七千円を増額するもの。

(全員賛成)

#### ○介護保険特別会計

歳入歳出それぞれに百九十二万六千円を増額するもの。

(全員賛成)

#### ○ケーブルテレビ事業特別会計

歳入歳出それぞれに三百

全国町村議会議長会創立60周年記念特別表彰

町議会議員 近岡 義治氏



町議会議員として30年以上在職し、地域社会の発展や住民福祉の向上に多くされた功績が認められ、昨年11月11日に、全国町村議会議長会長から表彰されました。

12月の町議会定例会開会に先だち、議場で伝達されました。

金田 之治議長



石川県町村議会議長会の会長に就任

1月26日、臨時総会で、第50代会長に選任されました。

三万七千円を増額するもの。

(全員賛成)

○国民健康保険志雄病院事業会計

収益的収入と収益的支出それぞれに、二千四十二万円を増額するもの。

(全員賛成)

◎決算認定

平成二十年度各会計決算の認定

○一般会計歳入歳出決算

○国民健康保険特別会計歳入歳出決算

○老人保健特別会計歳入歳出決算

○後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

○介護保険特別会計歳入歳出決算

○国民健康保険直営診療所特別会計歳入歳出決算

○ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算

○水道事業会計決算

○下水道事業会計決算

○国民健康保険志雄病院事業会計決算

(いずれも賛成多数)

◎その他

○宝達志水町公の施設の指定管理者の指定について

(賛成多数)

○小字の区域及び名称の変更について

(全員賛成)

◎請願

○「住宅リフォーム助成制度」(仮称)の創設を求める請願書

(不採択)

○「核兵器のない世界」に向けた政府の責任を果たすことを求める意見書の提出を求める請願書

(継続審査)

平成21年 第4回 臨時会



11月27日

一部を改正する条例

(全員賛成)

○宝達志水町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例

(全員賛成)

○宝達志水町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

(賛成多数)

◎条例

○宝達志水町議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

(全員賛成)

○宝達志水町常勤の特別職の職員の給与に関する条例の

◎専決予算

○平成二十一年度宝達志水町一般会計補正予算(第五号)

(全員賛成)

T環境整備事業契約の締結について

(全員賛成)

◎専決予算

○平成二十一年度宝達志水町一般会計補正予算(第七号)

(全員賛成)

◎契約

○宝達志水町立小中学校IC

平成22年 第1回 臨時会



1月25日

# 町政を問う

# 質問 いっぱん

## 事業の見直し点や、 優先順位の基準は

萩山 恭子 議員



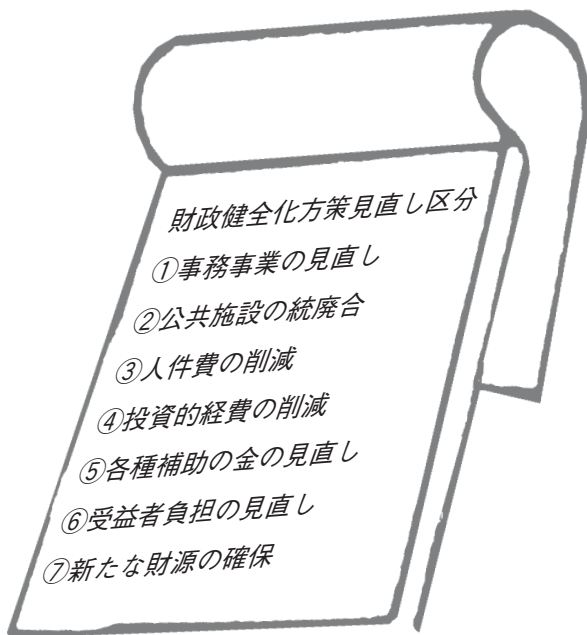
### 答 町長

① 今後は、「基金に頼らず」、「投資的経費を抑制し」、「地方債残高を減らす」方針のもとで財政運営に努め、財政状況を一刻も早く健全なものにすることが先決と考える。

主要事業の優先順位は、安全で安心な生活に密着した緊急性のあるものを最優先にしたいと考えている。

公共施設の統廃合は、平成二十年度に、中央保育所と東部保育所を統合、共同福祉施設白虎山センター、今浜健康広場、宝達山頂展望台など七施設を廃止した。平成二十二年度に、役場庁舎、北大海第一保育所と第二保育所を統合していく。

町有地は、二十一か所、約九万平方メートルある。そのうちの十七所の売却候補用地の町有地は、できるだけ早



い時期に売却処分したい。残り四か所の町有地は、今後、公共用地として活用する。

町土地開発公社の所有地は、今後も企業誘致活動を行い、売却促進を図りたい。

町民の声を広く聞くため、まちづくりレターを復活した。すぐに対応できるものは、担当課に指示し、改善を図るなど活用させていただいている。町のホームページでは、従来から「お問い合わせ」コーナーで意見や質問を受け付けている。

新たな体制からまだ五か月経たばかりで、目に見えるよ

うな大きな成果はないが、取り組みを報告する。

健全財政推進室は、町政懇談会を開催し、意見や要望を聞いたところである。

ふるさと振興室では、全集落を対象に「ふるさと情報調査」を行った。

情報推進課は、常に新しい情報の発信に努め、月平均二十四本の番組制作を行っている。

地域整備課は、複数の庁舎で行っていたものが一元化され、利便性が向上したと思っている。

### 問

① この一年間の町政運営の成果や実績、所信を問う

・ 合併時に策定した財政を見直した結果で、どのような事を見直すべきと思ったか。  
・ 事業の優先順位は、どのような基準か。

・ 公共施設の統廃合状況は。  
・ 町や土地開発公社所有の利活用の進捗状況は。

・ 町民の声を町政に反映するための創意工夫と、その効果は。

・ 課統廃合の効果と実績は。

# 道路整備の投資的経費は、削減か

北本俊一 議員



**問**

①ふるさと農道整備事業推進の今後の予定は。  
 ②町単独道路整備について  
 ③来年度予算編成について

**答 町長**

①五百七十メートルについて、買取できる条件が整っていないため、財政健全化方策案では、ふるさと農道整備事業を休止としたが、用地買取に係る事務費などは計上する予定である。

②財政健全化方策案の中では町単独道路整備事業を廃止としているが、補助事業や交付金事業などの財源が確保できれば実施する予定である。基金の取り崩しや、地方債残高実質公債費率に影響するような事業は行わない。

③費用負担のあり方について見直す方針。効率的な事務事業の実施にあわせて、負担割合を見直し、負担の適正化を図りたい。

**答 財政課長**

③町の活性化策を助長するため、要求項目に「ふるさと振興枠」を特別に設定し取組む。国の動向を注視しながら、「財政健全化の基本理念」を念頭におき、予算編成を考慮する。

# 財政健全化の考え方や進め方は

柴田 捷 議員



**問**

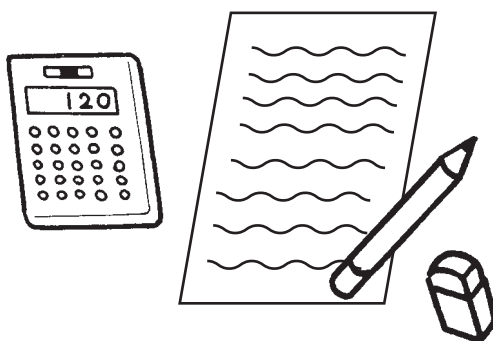
①財政健全化方策について  
 ・必要と考える現状認識は。  
 ・推進するうえでの考え方は。  
 ・方策策定には、職員からの意見求めたか。

・実行にあたり、職員と執行部との意思疎通が十分にできたか。  
 ・住民に説明が必要では。  
 ・今後十年間の財政の見通しは。  
 ②平成二十二年度の予算編成方針は。

**答 町長**

①県地方課による行財政総合診断結果で、効率的で持続可能な財政へ転換を図ることが必要と指摘を受けた。本町の財政健全化は急務である。実質単年度収支が継続的に黒字となり、財政調整基金の残高が類似団体並みの残高を保有する状態になるまで、意欲をもって臨む。

今回の健全化方策策定は、全課から提案方式により事務事業の見直しを行った。方策の実行にあたって、主幹級職員との意見交換会を開いた。また、職員全員に財政状況の説明会を開催し、現在実行している事務事業の見直し作業を提案段階から幾度も各課とヒアリングを重ねている。財政健全化方策は、時期を



みて、より多くの町民に説明していきたいと考えている。

②九月に政権交代し、地方交付税の配分の仕組み、税制改正、暫定税率の廃止など現時点で不透明な部分多い。国の動向を注視しながらの予算編成作業になる。国の方針がある程度確定し、当初予算が固まった時点で財政見直しを立たいので、今しばらく猶予をお願いする。

# 農業の活性化に、「道の駅」を設置してはどうか

岡野 茂 議員



となっており、町内には国道159号の免田地内と宿地内に二十四時間使用できる駐車場とトイレがあるため、実現は大変困難。

農産物直売所は、このような設置基準は無く、いきがいを持つには効果があると思うが、町の運営は非常に困難。

## 問

- ①道の駅設置について
- ②財政健全化に、人件費節減も重要と思うがいかがか。

## 答 町長

①「道の駅」の設置基準は、ほかの「道の駅」との距離が概ね十キロメートル程度あること、二十四時間利用可能な駐車スペース、トイレ、情報提供施設を備えることとなっている。本町の近隣には、高松サービスエリアが「道の駅」

となっており、町内には国道159号の免田地内と宿地内に二十四時間使用できる駐車場とトイレがあるため、実現は大変困難。農産物直売所は、このような設置基準は無く、いきがいを持つには効果があると思うが、町の運営は非常に困難。直売所の設置・運営に意欲ある方には、町としてできる限りの支援・協力をしたい。

- ①自公政権崩壊の認識を問う。
- ②国民健康保険の一部負担金の減免規定を利用する要綱は整ったか。
- ③不況対策について
- ④デマンドタクシーについて

## 問



# 中小企業緊急雇用安定助成金とはなにか

小島 昌治 議員

適切な一日単価額にすれば、高齢者の料金の引き下げなど考えられるが、いかがか。

## 答 町長

①私は就任時から住民党の立場。政権が変わろうとも、仕事に対する取り組みは変わらない。政権交代は、いずこにも起こりうる現象と認識している。

③本町では、自立支援型住宅リフォーム推進事業、耐震改修・耐震診断補助金制度、下水道接続における改造資金融資斡旋と利子補給と助成制度を行っている。

中小企業緊急雇用安定助成金とは、事業活動の縮小を余儀なくされ、雇用する労働者を一時的に休業、教育訓練、出向させる場合など、当該事業主に、その賃金などの一部

を助成するものである。この制度は、事業主が直接職業安定所へ申請し、一定の要件を満たした企業に、国が五分の四、事業主が五分の一を負担することになっている。現状では、事業主負担分の肩代わりは困難である。

## 答 住民課長

②要綱は作成し、一月からの実施を考えている。



# 常任委員会ノート

## 十二月定例会会期中に行われた審査の内容を紹介します

### 総務

だけか。

**答** 職員の引き下げ額は、三千三百万円。

**問** 行財政改革推進事業の会議に補正予算をしなくてはならないか。

**答** 意見を聞く内容で審議する一回分を補正。予算は二回であったが、今後どうすればよいかを審議する必要がでた。

**問** 徴税費で県税事務所に、滞納の徴収を委託しているものはあるか。

**答** 県との徴収事務は来年度から職員を派遣してもらい、事務を進めていきたい。

**問** 来年度の税収はどれくらい減るのか。

**答** 町県民税で、一割程度。固定資産税の増は見込めない。

**問** 来年度にむけて、ケーブ

ルテレビの加入促進を考えているか。

**答** キャンペーンを検討中。質の向上に努め、加入してもらえるよう努力する。

**問** 全国瞬時警報システムの情報を各家庭にどう伝えるか。

**答** 議員や区長宅へファックスで送付する。徹底して知らせる方法が課題になる。

### 教育厚生

**問** 出産一時金は、現在何人ほど見込まれるか。

**答** 昨年の出生児は、八十六名。今年度は、八十人までいかないのではないかと思

っている。

**問** 町立小中学校の誘導灯、排煙設備などは、速やかに直しておかないといけないのでは。

**答** 子供たちの安全を考えて、できるだけ早く危険な状況がないようにしていく。

**問** 喜多家の柱の腐食対応はどうか。

**答** 門支柱は、雨落ちによって腐食したもので、雨落ち部分に銅板を巻く予定である。

**問** 基準超過費用額共同負担金はどういうものか。

**答** 医療費が一定額を超えた額の半分を、国、県、町が各三分の一負担するもの。

**問** 安否確認の登録台帳とは。

**答** 要援護者のための避難誘導プラン。「災害時の集合場所」「個人の安全確認」など個人情報保護の観点か

ら、同意者のみ台帳に記入し、民生委員、区長、消防署が台帳保管する。

**問** 年末の共同募金で、封筒に個人名を記入することになって理由は。募金は強制であってはならない。

**答** 名前を書くのは、募金とする性質からかけ離れている。プライバシーの侵害にあたらないか。

**問** 社会福祉協議会の事業で、募金の方法は、各市町で異なる。五百円以上募金された個人名と金額は県へ報告している。

**答** 募金は強制ではないが、五百円以上は、寄付となるため、名前を書いてもらっている。

**問** 母子手当の申請は、アステラスでできるか。

**答** できる。

**問** 敷浪駅駐車場用地を買収できなかったことについて、町長は知っているか。

**答** 買えないことは聞いた。原因は知らない。

**問** 統計調査員は、役場職員か。

**答** 役場職員もいるが、民間の方もいる。

**問** 石川ブロードバンド基盤整備臨時金交付金は、なぜ交付されることになったのか。

**答** 地域イントラで事業をしたことを前提に、受けることになった。

**問** 人事院の影響額は、どれ

# 産業建設

**問** 緊急雇用創出特別事業の空き家等調査事業は、来年度という方向付けか。

**答** 空き家や空き農地の活用することを国や県から要請があったので、これを調査したい。

**問** 三年間、事業は続くのか。

**答** 計画は三年だが、できるだけ事業を終了し、一日でも早く空き家など活用できるようにしたい。

**問** 葛畑の管理はどうなっているか。

**答** 葛畑は二か所。一か所は、水田を利用したもので、水を嫌う葛は育たないと言われた。もう一か所は、排水対策していないことや、土壌の一部が壁土でよくないということ廃止した。

**問** 町の除雪対策の現状は。

**答** 町から業者の借り上げは四十一台。町から業者へ貸与している

のが六台。町が保有するのは一台。業者の保有台数が少なくなってきたのが現状で、一台あたりの除雪範囲の割り振りの変更で対応したい。

**問** 出動基準は十五センチ。積雪八十センチで、対策本部を設置する。

**問** 広域農道の除雪は、どう考えているか。

**答** 来年度、町へ移管されるが、町で対応しきれない。生活圏の範囲内だと考えている。

**問** 業者への連絡体制をきちんとしてほしい

**答** 慎重に対応していく。



# 委員会視察研修報告書

## (静岡県)

常任委員会視察を平成二十一年十月二十九日から三十一日に実施した。

第一日目は、三委員会合同で、商業施設の御殿場プレミアム・アウトレットを視察。

ここは、遊園地の跡地で、敷地面積は三十五万五千平方メートル。駐車場は、五千台の広さ。店舗面積は四万五千二百平方メートルで、およそ二百店舗ある。地元や首都圏からの客に加え、観光客の立ち寄りも多く、土曜日、日曜日は道路が渋滞すると聞いた。

第二日目は、各委員会に分かれて視察を実施。

第三日目は、合同で静岡県地震防災センターを視察。地震に対する知識と技術の普及向上、防災意識の高揚、自主防災組織の活性化を目的に設置されたもので、立体シア

ターによる大津波のシミュレーションや地震装置などで体験や学習ができた。

なお、各委員会の視察報告は、次のとおりである。

### 総務常任委員会 (伊東市)

委員四名と議会事務局長が参加し、伊東市が運用する伊東(I・T・O)システムについて研修した。

伊東システムとは、現場主義(Information)現場を大切にした行政運営、目的指向(Target)目的達成のための効果的な行政運営、意識改革(Oriented)職員の市政に対する積極的な姿勢を持った行政運営の頭文字を取ったものである。

財政状況の悪化の原因は、

歳入では①景気の停滞による市民税の落ち込み②固定資産税の減収③特別地方消費税の廃止④三位一体の改革による

国県支出金の削減、歳出では①観光地の特殊性として人口規模以上の行政需要があることによる経費の増②生活保護費等の福祉経費の増加③高齢化率の上昇に伴う医療費等の増加などと説明を受けた。

財政悪化の対策として、現場主義の観点から①元気ある地域づくり応援事業の創設②地域応急処理費の充実③学校施設等に校長園長裁量の現場の目線に立った修繕費の配分④各課に行革推進リーダーを設置、目的指向から①職員数の適正化②職員給与の適正化③事務事業の優先順位の設定④施策の役割分担の明確化⑤受益者負担の見直しなど、意





伊東市役所前にて

識改革の観点からは、職員一人一人が「私たちが改革の担い手である」との認識を持ち、簡素で効率的な市民本位の行政システムを構築する運動を実施。事務事業の集中見直しは、予算編成前に行っている。平成二十年度の財政状況は、伊東市システムを導入した平成十七年度と比べると、実質収支比率は一・三%から三・六%に向上。地方債残高は、約十億円減少。他にも多数改善がみられた。

今回の視察研修で、職員一人一人が行革の担い手という意識を持ち、因習に縛られない新しい創意工夫で行政運営を行うことが非常に重要と思

### 教育厚生常任委員会 (静岡市)

委員三名が、総合型地域スポーツクラブである清水スポーツクラブを視察した。総合型地域スポーツクラブは、現在、全国的に展開。いつでも、どこでも、だれでも、いつでもスポーツを楽しむことができる、地域に根ざした自主運営型、複合種目型スポーツクラブである。清水スポーツクラブは、平成十九年七月一日に設立。市の公共施設を利用し、嘱託職員が二名常勤していると聞く。設立時には、日本体育協会、totoから助成を受けている。スタッフは、教師や体育協会員など十五名で構成されている。主たる種目は、健康体操教室、卓球教室、バスケットボール教室など。クラブマネージャーの山本さんから、このクラブの運営や活動状況を聞いた。そのあと、施設内を見学させていただくと、健康体操で汗を流す方々がいた。



視察した長崎新田スポーツ交流センターの外観

### 産業建設常任委員会 (伊豆の国市)

本町では、平成二十年四月に、宝達志水スポーツクラブ準備委員会が発足し、各種スポーツ教室など順次開催し、体力向上に寄与している。組織のあり方、財源基盤の確立、スタッフの配置、指導者の確保など、まだまだ問題はありますが、本会は、本格的なスポーツクラブへの昇格に向け日々研鑽している最中である。今回の視察で学んだことを、本町のスポーツクラブを設立する一助となるよう、少しでも役立たせたいと思う次第である。

静岡県伊豆の国市浮橋の大仁瑞泉郷内にある「NPO法人MOA自然農法文化事業団大仁農場」を視察した。ここでは、化学肥料や農薬に依存しない自然環境型農業が行われていた。大仁瑞泉郷には、大仁農場を中心に「統合医療」を実施する「奥熱海療院」、酪農教育ファーム(大仁牧場)、団体・企業の研修宿泊施設(研修センター)、また、自然農法で栽培した食材を利用する自然食レストラン、体験学習施設などがある。大仁農場は、昭和五十七年に開設。農場には、およそ四十人のスタッフがいて、農地管理や研究、全国各地で自然農法による生産指導などを行っている。自家採種、連作、無肥料栽培の実証展示・調査研究が行われていた。山林は、定期的に保全管理を行い、枯れ草や落葉などの有機物を堆肥化し、畑に還元

間伐材はシートケの原木や炭材・木酢液の製造等に有効活用していた。近くの奥熱海療院では、大仁農場で取れた農産物を食材として食事を出し、園芸療法や理学療法を積極的に取り入れ、大仁農場の環境を最大限に利用していた。

今回の視察で、当町でも、むらおこしの推進を図るため、豊かな自然を生かし、環境と調和のとれた有機農業や自然環境型農業ができるよう、行政と農業者・住民が一体になった有機農業推進体制の整備を進めてもらいたいと思った。



大仁農場の管理事務所前にて

川崎與一議員逝去



本町議会の川崎與一議員が、平成二十一年十二月一日に急逝されました。同議員は、宝達志水町上田出身。平成十一年四月三十日から町議会議員を務め、平成十九年一月からは、産業建設常任委員長に就任していました。



町議会日誌 10月～1月

〔10月〕

- 4日 押水地区敬老会
- 11日 町総合防災訓練
- 14日 広報編集特別委員会
- 15日 広域圏議会運営委員会
- 15日 県町村議長会臨時総会
- 15～16日 県町村議長会行政産業視察
- 17日 蓮華山大相撲
- 18日 YOSAKOIソーラ
- 22日 ン日本海本祭夕食会
- 22日 病院運営特別委員会
- 23日 国道159号羽咋道路整備促進期成同盟会提言活動
- 25日 河北縦断道路起工式
- 26日 NTN宝達志水製作所竣工式
- 27日 議会運営委員会
- 29日 例月出納検査
- 29日 国道159号羽咋道路整備促進期成同盟提言活動
- 29日～31日 町議会常任委員会視察

〔11月〕

- 2日 郡市戦没者慰霊祭
- 3日 町功労者顕彰式
- 4日～5日 町文化菊花展表彰式
- 4日～5日 決算特別委員会
- 6日 広域圏議会臨時会
- 8日 宝達山水源の森づくり協会植樹会
- 10日 県選出国会議員との懇談会
- 11日 町村議会議長全国大会
- 12日～14日 能登空港利用促進議員連盟調査事業
- 16日 国道471号・河北縦断道路合同要望会
- 16日～18日 定期監査
- 24日 議会運営委員会
- 25日 例月出納検査
- 26日 定期監査
- 26日 県町村議会議長会議長協議会
- 26日 広域圏議会定例会
- 26日～27日 能登地区町議会連絡会
- 27日 議会運営委員会
- 町議会全員協議会

〔12月〕

- 1日 議会運営委員会
- 5日 町議会全員協議会
- 5日 能登空港100万人利用記念式典
- 11日 議会運営委員会
- 11日 町議定会例会
- 14日 病院運営特別委員会
- 15日 産業建設常任委員会
- 17日 教育厚生常任委員会
- 18日 総務常任委員会
- 22日 議会運営委員会
- 24日 町議定会例会
- 24日 例月出納検査
- 6日 消防団出初め式
- 10日 成人式
- 19日 議会運営委員会

〔1月〕

- 25日 議会運営委員会 全員協議会
- 26日 町議会臨時会
- 26日 例月出納検査
- 28日 中学校建設特別委員会
- 30日 町体育協会功労者及び優秀選手表彰
- 30日 総会

議会を傍聴しませんか

傍聴する前に、議場入り口で、氏名、住所、年齢の記入をお願いします。

問い合わせ先

議会事務局 TEL 29-8310

- 広報編集特別委員会
- 委員長 中谷 浩之
  - 副委員長 岡野 茂
  - 委員 金田 之治
  - 委員 林 一郎
  - 委員 柴田 捷